

- 13:30 | 主催者挨拶
- 13:40 | インTRODakShION
- 13:50 | 英国流に学ぶべきものは?
- 13:50 | 第1部
- 14:20 | 日本での持続可能な
まちづくり・住まいづくりの取組事例
- 14:25 | 第2部
- 16:10 | なぜ、英国のまちや住まいは
100年以上活用され続けるのか
- 14:25 | **講演1**
- 15:15 | 英国流 都市デザイン・
所有形態・住宅市場の流通
- 15:20 | **講演2**
- 16:10 | 英国流 集合住宅の成り立ち、
素材、施工方法
- 16:20 | 質疑応答
- 16:50 | 視聴者のみなさまからお寄せいただいた質問に、
講演者が生で回答させていただきます。

ご視聴にあたって

本イベントはYouTubeにてライブ配信いたします。

●
事前にご登録をお願いいたします。

●
お申し込み締め切りは
7月19日(火) 24:00までとなります。

●
参加費は無料ですが、視聴にかかるデータ通信料は
自己負担となります。

お申し込み後の流れ

後日、ご登録いただいたメールアドレスに
視聴用URLをお送りいたします。
開始時間の10分前を目途にURLに
アクセスをお願いいたします。

お問い合わせ先

一般財団法人 住宅改良開発公社 住まい・まち研究所
TEL:03-3237-7411(代)
E-MAIL:hid_001@kairyokousya.or.jp

住宅改良開発公社について

住宅改良開発公社は、1955年に設立され、住宅金融支援機構
や沖縄振興開発金融公庫、民間金融機関による賃貸住宅融資
に係る保証、賃貸住宅の管理・経営、住まいやまちに関する調査
研究事業を行っています。

〒102-0076 東京都千代田区五番町14番地の1
(国際中正会館ビル3階)
<https://www.kairyokousya.or.jp/>



英国流 持続可能な まちづくり・住まいづくり シンポジウム



YouTubeにて
ライブ配信

2022
7/20 水
13:30-16:50

参加無料(事前登録制)

主催 一般財団法人 住宅改良開発公社
後援 独立行政法人 住宅金融支援機構
一般社団法人 プレハブ建築協会

ご参加には事前申込が必要です。
最新情報はWebサイトをご覧ください。

<https://ashitanochintaijp.com/uk/symposium/>



英国流 持続可能な まちづくり・住まいづくり シンポジウム

2022

7/20 水

13:30-16:50

主催者挨拶

住宅改良開発公社は、1955年に設立され、これまでその時々を経済・社会の状況や住宅事情に応じて住まいと住環境の改善に取り組んで参りました。現在は、住宅金融支援機構や民間金融機関による賃貸住宅融資に係る保証を中心として、他に賃貸住宅の管理・経営などの事業を実施しております。

このたび、これからの賃貸住宅を考える「あしたの賃貸プロジェクト英国版」として、100年以上活用できる賃貸住宅経営のビジネス・モデル構築の基礎資料を得ることを目的に、「なぜ、英国のまちや住まいが100年以上持つのか」を紐解く調査研究を行いました。その成果をご紹介しますとともに、日本における持続可能なまちづくり・住まいづくりの先進的な取り組みのご講演をいただきます。

本シンポジウムが持続可能な住まいやまちづくり、そして、コミュニティづくり、自分らしく暮らせる賃貸住宅づくりの議論に、少しでも寄与できれば幸いです。

今後も、みなさまのニーズに応える事業展開を図り、住生活の安定と向上に貢献して参りますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

13:40-13:50

イントロダクション

英国流に学ぶべきものとは？

英国の住宅着工戸数は日本の約1/5、英国の既存住宅の取引件数は、日本の6.2倍、そして、住宅問題はいつも重要な政策課題として議論され続けている。歴史あるものを愛する国民性とともに、合理的な対応方策についても学びたい。



松本 真理

一般財団法人住宅改良開発公社
住まい・まち研究所
所長

13:50-14:20

第1部

日本での持続可能な まちづくり・住まいづくりの取組事例



サステナブルな賃貸住宅「シニア向け賃貸住宅編」

福田 浩司

旭化成ホームズ株式会社
マーケティング本部 集合住宅事業推進部
部長



まちを「再耕」するリブネスタウンプロジェクト

河内 毅文

大和ハウス工業株式会社
東京本社 リブネスタウン事業推進部 戦略企画グループ
主任



Fujisawaサステナブル・スマートタウンの取組み

熊谷 一義

パナソニック ホームズ株式会社
街づくり事業部 プロジェクト推進部
室長

14:25-16:10

第2部

なぜ、英国のまちや住まいは100年以上 活用され続けるのか

講演1

英国流 都市デザイン・所有形態・ 住宅市場の流通

英国の住宅市場と都市デザインの関連性を明らかにするために、100年前に開発されたレッチワース田園都市と、その進化型であるピスター・ヘルシータウンを紹介する。その後、住宅の所有形態と流通の仕組みが100年住宅の売買を促す住宅市場をいかに支えてきたかを解説し、住宅を長期に使うことに貢献してきた都市計画と住宅市場の役割を明らかにする。英国の事例が、日本における持続可能な住宅開発と街づくりに、どのようなヒントを与えるのかを考える。



大塚 紀子

ILS Research gGmbH 上席研究員

竹中工務店大阪本店勤務後、1997年に英国ヨーク大学にて建築学の修士号、2004年、オックスフォード・ブルックス大学にて都市デザインの博士号を取得。英国やスイスでの大学勤務を経て、2018年よりドイツ、ドルトムントのILSリサーチで上席研究員として勤務。大阪大学特任講師、一級建築士

講演2

英国流 集合住宅の成り立ち、 素材、施工方法

英国の集合住宅が改装やリノベーションを通して、どのように100年以上使われ続けているのかを、集合住宅の成り立ち、素材、施工方法から実際の事例を通して解き明かし、さらに、持続可能な開発を目指した最新の英国の集合住宅の事例を紹介する。英国の事例から、日本における持続可能な集合住宅開発のための、改装やリノベーション、コンバージョンを通して長期に集合住宅を使うための課題や、そのための施工方法や素材などに対するヒントを考える。



漆原 弘

Urushibara Architecture and Consultancy 代表

早稲田大学建築学科大学院修士課程終了後、SKM設計計画事務所/近代建築研究所勤務。1999年、英国ヨーク大学で博士号取得。その後、アイルランド、英国の設計事務所勤務を経て、2019年にUrushibara Architecture and Consultancyを設立。一級建築士、王立建築家協会会員、英国政府登録建築家

16:20-16:50

質疑応答

視聴者のみなさまからお寄せいただいた質問に、講演者が生で回答させていただきます。